

札幌市円山動物園ビジョン 2050 第2次実施計画（案）

に対するご意見の概要と札幌市の考え方について

2024年（令和6年）6月

札幌市

市政等資料番号
01-J03-23-1167

目 次

1. 意見募集の概要	… 1
2. パブリックコメントの内訳	… 2
3. パブリックコメントに基づく当初案からの修正点	… 3
4. パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方	… 3
5. キッズコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方	… 7

1. 意見募集の概要

(1) 意見募集の趣旨

札幌市円山動物園では、開園 100 年目である 2050 年に向けて、基本理念「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を掲げ、園の姿勢を明確にした「円山動物園基本方針ビジョン 2050」を平成 31 年 3 月に公表しました。

このビジョン 2050 に基づいて実施する重点的な取組を 5 年ごとに計画としてまとめるとしており、「円山動物園ビジョン 2050 第 2 次実施計画（案）」に対する意見募集を実施し、多数のご意見をいただいたところです。いただいたご意見につきましては、今後、ビジョン 2050 第 2 次実施計画を推進していく際の参考とさせていただきます。

(2) 意見募集期間

2024 年（令和 6 年）3 月 18 日（月）から 4 月 16 日（火）まで

(3) 意見提出方法

円山動物園への郵送・持参、ファクス、電子メール、ホームページのご意見募集フォームからの送信

(4) 資料の配布場所

- ・ 札幌市円山動物園
- ・ 札幌市役所本庁舎 2 階 市政刊行物コーナー
- ・ 各区役所総務企画課広聴係
- ・ 各まちづくりセンター
- ・ 札幌市環境プラザ（札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2 階）

(5) 意見募集の周知方法

- ・ 札幌市公式ホームページへの掲載

2. パブリックコメントの内訳

(1) 意見提出者数・意見数

意見提出者数：4人　　意見数：17件

(2) 意見提出者の年代別の内訳

分類	19歳以下	20代	30代	40代	50代	
提出者数	0人	0人	0人	1人	1人	
意見数	0件	0件	0件	7件	3件	
分類	60代	70歳以上	キッズ	不明		合計
提出者数	0人	0人	1人	1人		4人
意見数	0件	0件	5件	2件		17件

(3) 意見提出者の提出方法の内訳

提出方法	ホームページ	郵送	ファクス	電子メール	持参	合計
提出者数	1人	0人	0人	0人	3人	4人
構成比	25%	0%	0%	0%	75%	—

(4) 意見内容の内訳（方針案の構成に沿って分類）

本書では、「ビジョン 2050 第 1 次実施計画」(案) に対して寄せられた意見について記載しております。

分類	意見数	構成比
「ビジョン 2050 第 2 次実施計画」(案) に対して寄せられた意見		
「ビジョン 2050 第 2 次実施計画」全体	0 件	0.0%
第 1 章 本計画の位置づけと計画期間について	0 件	0.0%
第 2 章 第 1 次実施計画期間における取組状況と今後の課題	3 件	17.6%
第 3 章 具体的な事業と取組		
1 第 1 次実施計画からの変更点等について	0 件	0.0%
2 「飼育展示していく動物種」について	1 件	5.9%

3 重点取組項目に対応する事業と取組		
(1)「良好な動物福祉の確保」を推進する事業・取組	0 件	0.0%
(2)「保全」を推進する事業・取組	0 件	0.0%
(3)「教育」を推進する事業・取組	2 件	11.8%
(4)「調査・研究」を推進する事業・取組	0 件	0.0%
(5)「リ・クリエーション」を推進する事業・取組	0 件	0.0%
(6)取組を支える基盤の整備	0 件	0.0%
第4章 施設整備について	1 件	5.9%
第5章 第2次実施計画の推進に当たって	0 件	0.0%
その他の意見	10 件	58.8%
合 計	17 件	100.0%

※ 構成比の値は四捨五入しているため、内訳の合計値が100.0%にならない場合があります。

3. パブリックコメントに基づく当初案からの修正点

市民の皆さんから頂いたご意見を基に、当初案から修正した項目はありませんでした。

4. パブリックコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方

頂いたご意見の概要と、札幌市の考え方は以下のとおりです。これらのご意見については、今後の動物園における事業や取組を実施する際の参考とさせていただきます。

No.	ページと項目	意見の概要	札幌市の考え方
第2章 第1次実施計画期間における取組状況と今後の課題			
1	○P7 入園者数の内訳	来園者には、小さな子どもを連れた家族連れが多いが、ベビーカーですれ違うには、今の園路は狭い。広めの通路の整備が必要だと思う。	今後の施設整備の際には、来園者の動線や通行のしやすさも考慮しながら検討を進めてまいります。
2		門扉が開き戸の場合、ベビーカーや車いす利用者には危なく、すれ違うときに出入りに苦労する。引き戸にした方が良いのではないか。	

No.	ページと項目	意見の概要	札幌市の考え方
3	○p12 来場者アンケート結果「環境を考えるきっかけになったと思う人の割合」	各獣舎にある棲息地を紹介する掲示物などは、観覧者の動線を考慮して配置することが大切だが、現在は施設の構造などからそのようになっていない。新施設を作る際には、もっと来場者の動線に気を配った建物にしてほしい。	いただいたご意見は、今後の施設整備を検討する際の参考とさせていただきます。
第3章 (3)「教育」を推進する事業・取組について			
4	○p39 ホッキョクグマ保全推進事業	環境保全や気候変動対策に関する普及啓発に繋げられるように、ホッキョクグマの展示では、円山動物園における繁殖記録を大きく掲げるべき。また、飼育中の各個体の魅力等をガイドで伝えたい。	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」では、基本理念に基づく取組のうち、【教育】に係る取組の一つとして「人間と野生動物との関係・距離感、野生動物に対する生命感を考えてもらう機会を提供」することを掲げており、円山動物園では動物種や生息環境に注目した情報発信を行っています。
5	○p40 ガイドボランティアの接客及びガイド技術向上	ガイドについて、来園者の目の前にいる個体の紹介が薄いので、声掛けをするなどし、紹介していってほしい。	今後も生物多様性の重要性を伝えていくとともに、野生動物の生息環境の保全や気候変動対策への貢献を念頭に置いた展示や解説を心がけてまいります。
第4章 施設整備について			
6	○p55 動物園全体の施設整備計画検討に当たつての考え方	太陽光発電は雪の影響を受けるため、札幌市に向いているのか検討してほしい。またソーラーパネルの寿命が来たときに廃棄物を未来に残すことになり、この計画の遂行とは矛盾していると思う。円山動物園に合う再生可能エネルギーをしっかり吟味してほしい。 現状のゾウの糞の堆肥化はとても良いと思う。動物の大量の糞尿を利用したメタンガスでのバイオガス発電などはどうか。	ゾウ糞の堆肥化につきましては、「園内で排出されるごみの削減に向けた取組」に基づき今後も取り組んでまいります。 また、再生可能エネルギーを含む園内で使用するエネルギーのあり方につきましては、他の関係部局とも連携しながら、取組・検討を進めてまいります。

No.	ページと項目	意見の概要	札幌市の考え方
その他の意見			
7	-	子どもが長く動物を見ていると、親は暇がでて、掲示板に目が行きます。結局子どもが夢中になることが、親の関心が広まる結果になるかもしれませんとと思いました。	たくさんの子ども達に動物に親しんでもらうとともに、動物園の社会的役割を知ってもらえるよう、円山ZOOガイド等の教育プログラムの取組を進めてまいります。 また、園内の掲示物等について、より分かりやすく関心を引くことができるよう、内容の充実を図ってまいります。
8	-	ホッキョクグマ館のガラス面が曇っているので、きれいにしてほしい。	ホッキョクグマ館のガラス面の清掃については、一定頻度で行っているほか、擬岩の石灰成分が付着して落ちにくくなっている汚れについても、専門業者による薬品除去を実施したところです。 今後も、効果的な対応方法を継続して検討してまいります。
9	-	子どもしか入れないゾーンがあるが、前で見たい大人もいるので、年齢での区別はやめた方が良い。子ども専用ゾーンではなく「子ども優先ゾーン」とし、大人の良心や良識に任せてもいいのではないか。	アジアゾウやライオンの獣舎は、多くの方が集まり、小さいお子様が動物を見ることができないとといったご意見を多数いただきていることなどから、譲り合ってご観覧いただけるよう、子ども専用のスペースを設けているところです。 職員による呼びかけなども行い、来園された皆さんに動物を観覧いただけるよう引き続き取り組んでまいります。
10	-	動線を区切る際に、三角コーンやポールを使用しているが、通行しにくく危ないので、床の配色や点線を引くといった工夫で、動線を分けてほしい。	いただいたご意見は、今後の施設整備を検討する際の参考とさせていただきます。

No.	ページと項目	意見の概要	札幌市の考え方
11	-	地元の高専や大学（美術系・建築系）などと連携し、来場者がケガなく、有意義に動物について学べ、職員が働きやすい動物園全体のより良いデザインを目指してはどうか。	いただいたご意見は、今後の施設整備を検討する際の参考とさせていただきます。
12	-	外国人向けの説明が少なすぎる。	園内の表示の多言語化に取り組んでいるところですが、引き続き案内の充実に努めてまいります。

5. キッズコメントに寄せられたご意見と札幌市の考え方

No.	ページと項目	意見の概要	札幌市の考え方
第3章 具体的な事業と取組			
1	○P19 2「飼育展示していく動物種」について	オオカミを群れで飼育するのがむずかしいのは分かるけど、断念種になってしまったのは、さみしいです。	円山動物園では、「飼育展示していく動物種」をいくつかの観点から整理しています。その中で、動物の心と体の状態を健康に保つことができるか、という点も大切にしています。いただいたご意見のとおり、円山動物園ではオオカミを野生下と同じオス・メスの群れで飼育することが難しいと判断し、「断念種」としています。 これからも動物の心と体の状態を健康に保つことに配慮しながら、動物園としての役割を果たしていくよう取り組んでいきます。
第3章 (3)「教育」を推進する事業・取組について			
2	-	ゾウ舎の掲示のように、飼育員から見た動物の様子を書いて掲示するといいと思います。	たくさん的人に楽しみながら動物の生態や生息する環境を学んでもらえるよう、掲示物の充実に取り組んでいきます。
3	-	Podcastで「みんなの円山動物園」というラジオ番組がある事を知りました。飼育員さんのお話が聞けて勉強になったので、もっとたくさんの人へ聞いてもらえるように、広報したらいいと思います。	今後も、より多くの人に円山動物園の魅力を知ってもらえるよう、様々なメディアを通じて魅力発信に取り組んでいきます。
4	-	暑い日がふえてきているので、暑さが苦手な動物がすごしやすいように、すずしくする工夫をしたらいいかなと思います。	良好な動物福祉を確保できるよう、様々な工夫をしながら飼育環境の向上に努めています。
5	-	動物園センターの図書コーナーに自然の大切さを伝えるコーナーを作ったりして、人が集まる工夫をしらたいいと思います。	いただいたご意見を参考に、配架図書を活用し、自然の大切さを伝えていくことができるよう取り組んでまいります。

札幌市環境局円山動物園

TEL : 011-621-1426 FAX : 011-621-1428
E-mail : zoo.kanri@city.sapporo.jp